

～もしも、大地震が起こったら？～

まずはわが身の安全！

大地震でけがをしてしまったら、家族、知人、地域の人たちを助けるどころか、自分が助けられる立場になってしまいます。

地震の大きな揺れは、長くても1分間程度です。慌てて行動せず、まずは身の安全を確保してください。

- 揺れを感じたら、丈夫な机やテーブルの下に身を隠しましょう。
- キッチン調理中の鍋の中身、食器棚からの食器の飛散、電気製品の落下など意外に危険がいっぱいです。
身近なクッションなどで落下物から身を守りながら、家具の少ない部屋の安全な場所へ移動しましょう。



- 大きな照明器具がある場合には、頭上に落下してくる危険があります。
- 床や廊下には、食器やガラスの破片が散乱しています。必ず足裏をカバーできるものを履いて、注意して歩いてください。

～家具は大丈夫ですか？～

家具は凶器？

阪神・淡路大震災では、家屋・家具類などの倒壊による圧迫死が犠牲者全体の9割弱を占めました。そして、そのうちの約1割が、家具類の転倒による死亡と考えられています。（以上、東京消防庁調べより）



身近な家具が、
震災時には凶器と
なるのです！！

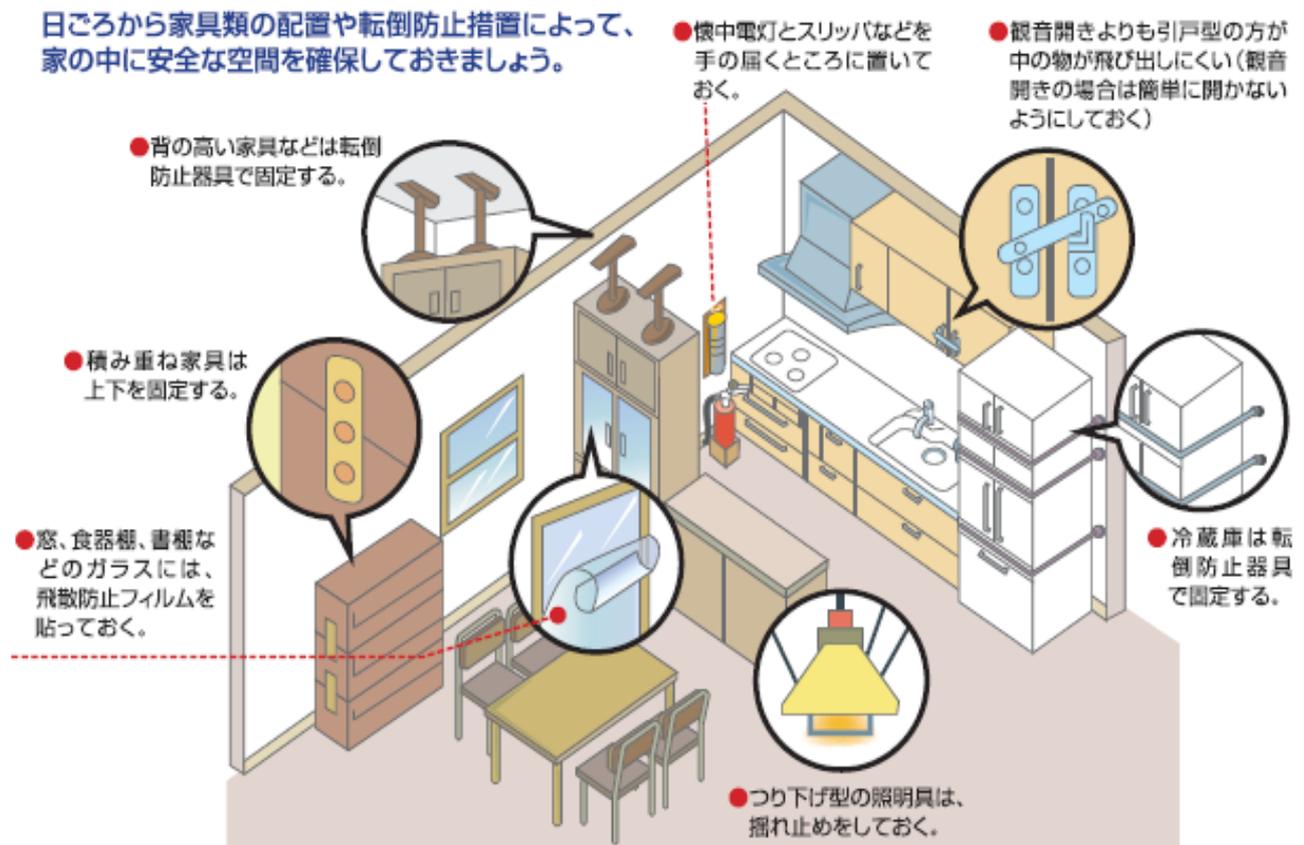
日ごろから、家具類の配置や転倒防止装置によって、家の中に安全な空間を確保しておき、落ちると危険な物は、棚や家具の上など高いところへは置かないようにしましょう。

**特に、睡眠中は
地震に対して無防備になります。**

**寝室の家具転倒防止対策について、
十分配慮しましょう！**

地震に強い部屋づくり

- 背の高い家具等は転倒防止器具で固定しましょう。
- 冷蔵庫は転倒防止器具で固定しましょう。
- 積み重ね家具は上下を固定しましょう。
- 窓、食器棚、書棚などのガラスには、飛散防止フィルムを貼っておきましょう。
- 懐中電灯とスリッパなどを手の届くところに置いておきましょう。



(出展：川崎市危機管理室「備える、かわさき」より)

まずは「自分が安心できる居場所」を、
つくりましょう！

宮前区防災フェア

昨年、有馬地域で行った「防災フェア」を、今年度は、宮前区の防災啓発普及事業として、装いも新たに宮前市民館と宮前平公園で2009年1月20日（火）に行うことになりました。

市民館大会議室では、防災関連の展示・実演等を行い、市民館3階・4階の会議室では防災にちなんだ各種講座を開催します。

宮前平公園では、宮前消防署の協力のもと、初期消火・起震車等の体験ができます。

「身近な防災」を「気軽」に学べます。多くの方々の御来場をお待ちしています。

宮前区防災フェア
日時：1月20日(火)
午前10時～午後3時
会場：宮前市民館
宮前平公園

○宮前区役所
○宮前市民館
○宮前警察署
○富士見台小学校

宮前平駅 東学田線
一宮町 尻手黒川道路 川崎一

防災について気軽に学べる「平成20年度宮前区防災フェア」を開催します。
防災用品等の展示・実演、防災講演会のほか、宮前消防署の協力のもと、初期消火・煙体験・起震車等の防災体験学習を行います。
また、参加者には防災に関わる啓発物品を配布いたします。

主催：宮前区まちづくり協議会
宮前区役所
協力：宮前消防署 ほか

- この「季刊 防災ニュース」と、平成17年度から宮前区まちづくり協議会で発行している「防災ニュース」は、宮前区まちづくり協議会のホームページからダウンロードすることができます。ホームページでは美しいカラーでご覧いただけます。

http://www.miyamae-matikyuu.com/mk_cgi/mk_14aahtml/mk_14aa65bousai.html

- 「季刊 防災ニュース」は、4半期ごとに発行いたします。防災に関して知っていること、分かっていることの再確認用としてご活用ください。